

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公表番号】特表 2003-521471 (P2003-521471A)

【公表日】平成 15 年 7 月 15 日 (2003.7.15)

【出願番号】特願 2000-610471 (P2000-610471)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/357 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/08 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/14 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/16 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/28 (2006.01)**

**C 0 7 D 493/14 (2006.01)**

【 F I 】

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

C 0 7 D 493/14

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 22 日 (2006.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

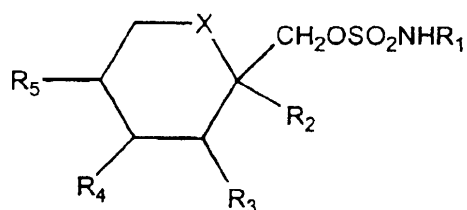
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式 I :

【化 1】



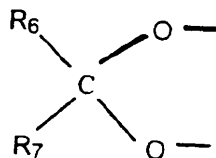
式中：

X は C H<sub>2</sub> または酸素であり；

R<sub>1</sub> は水素またはアルキルであり；そして

R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>及びR<sub>5</sub>は独立して水素またはアルキルであり、そしてXがCH<sub>2</sub>である場合には、R<sub>4</sub>及びR<sub>5</sub>はベンゼン環を形成するように連結されたアルケン基であることができ、そしてXが酸素である場合には、R<sub>2</sub>とR<sub>3</sub>及び/またはR<sub>4</sub>とR<sub>5</sub>は一緒に以下の式(II)：

【化2】



式中、

R<sub>6</sub>及びR<sub>7</sub>は同じまたは異なり、水素、低級アルキルであるかまたはアルキルであり、そしてシクロペンチルまたはシクロヘキシル環を形成するように連結される、のメチレンジオキシ基であることができる、

の化合物を有効成分として含んでなる慢性神経変性を処置するための製薬学的製剤。

【請求項2】 式Iの化合物がトピラメートである請求項1記載の製剤。

【請求項3】 式Iの化合物が約32～512mg投与される請求項1記載の製剤。

【請求項4】 式Iの化合物が約16～256mg経口投与される請求項1記載の製剤